

# 中小企業動向 トピックス

## 中小企業の景況は、緩やかな回復基調のなか、 弱い動きがみられる

「全国中小企業動向調査（中小企業編）」結果概要  
〔2016年4-6月期実績、7-9月期および10-12月期見通し〕

当公庫ではお取引先のご協力を得て、2016年6月に「全国中小企業動向調査（中小企業編）」を実施しました（調査対象13,620社、有効回答企業数7,407社、回答率54.4%）。

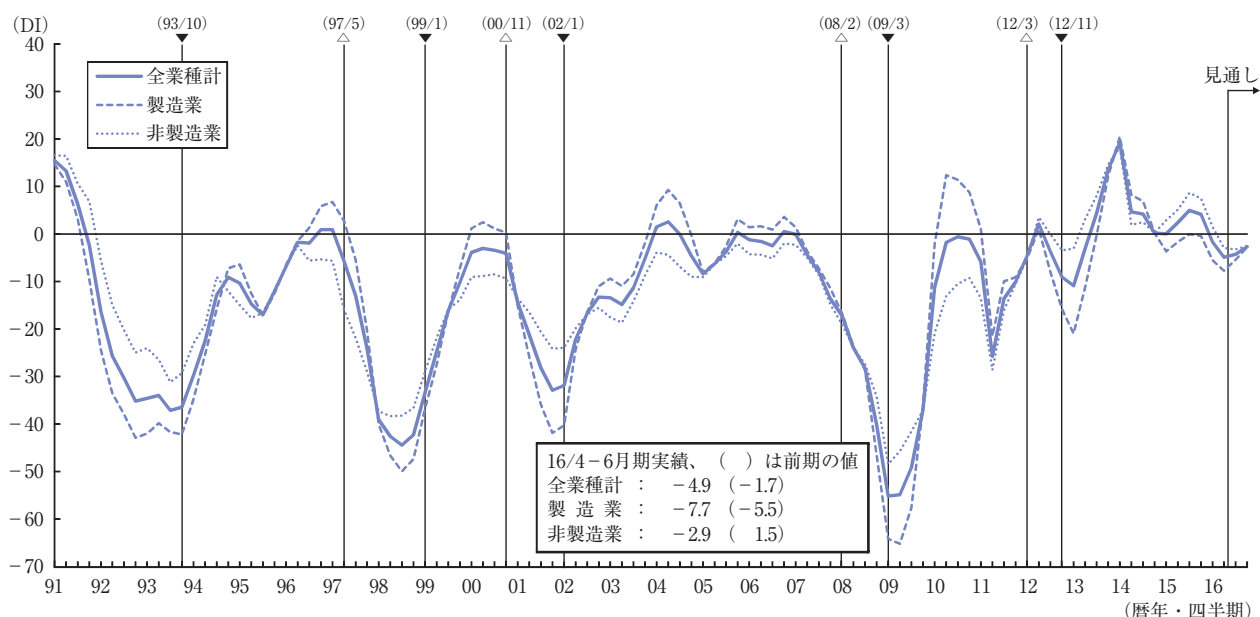
今期の中小企業の業況判断DIは3期連続の低下となりました。来期以降は上昇に向かうものの、依然としてマイナス水準が続く見通しです。中小企業の景況は、緩やかな回復基調のなか、弱い動きがみられます。

### 業況判断DIは3期連続の低下

今期（2016年4-6月期）の業況判断DI（全業種計）は、前期（2016年1-3月期）から3.2ポイント低下し、-4.9となりました（図表-1）。低下は3期連続です。

先行きについては、来期（2016年7-9月期）は-4.3、来々期（2016年10-12月期）は-2.7と上昇するものの、依然としてマイナス水準が続く見通しです。中小企業の景況は、緩やかな回復基調のなか、弱い動きがみられます。

図表-1 業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）



(注) △は景気の山、▼は景気の谷を示す（以下同じ）。

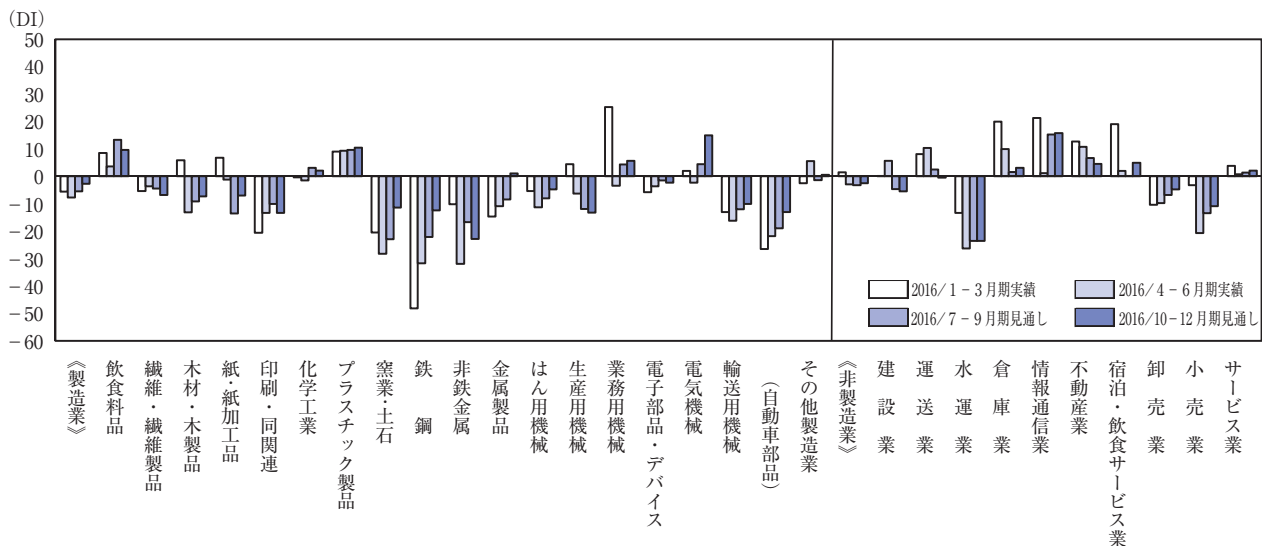
## 素材関連、設備・機械関連業種が低下

今期の業況判断DIを業種別にみると、熊本地震による生産調整の影響に加え、円高の進行や新興国経済の低迷を背景に、はん用機械等の設備関連業種や輸送用機械等が低下しています（図表-2）。輸送用機械については国内販売の不振や燃費不正問題なども影響したと考えられます。また公共工事の出遅れや鋼材価格の低迷を背景に、窯業・土石や鉄鋼、非鉄金属といった素材関連業種が引き続きマイナス水準となっています。

非製造業では、熊本地震を受けた旅行のキャンセルなどの影響もあり、これまで好調であった宿泊・飲食サービスが低下しています。また、株価低迷等を背景とした消費マインドの悪化により、小売業でマイナス幅が拡大しています。

先行きをみると、引き続きマイナス水準となる業種が多いものの、熊本地震や燃費不正問題などの一時的要因の後退が見込まれるため、マイナス幅は縮小する見通しです。

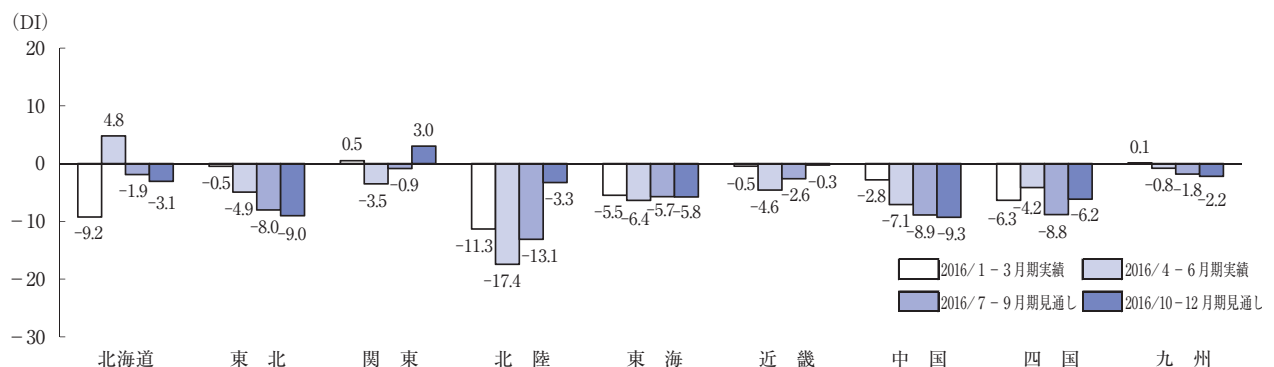
図表-2 業種別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）



## 8地域でマイナス水準

業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道を除く8地域でマイナス水準となっています（図表-3）。来期は関東、北陸、東海、近畿の4地域でマイナス幅を縮小する見通しです。

図表-3 地域別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）

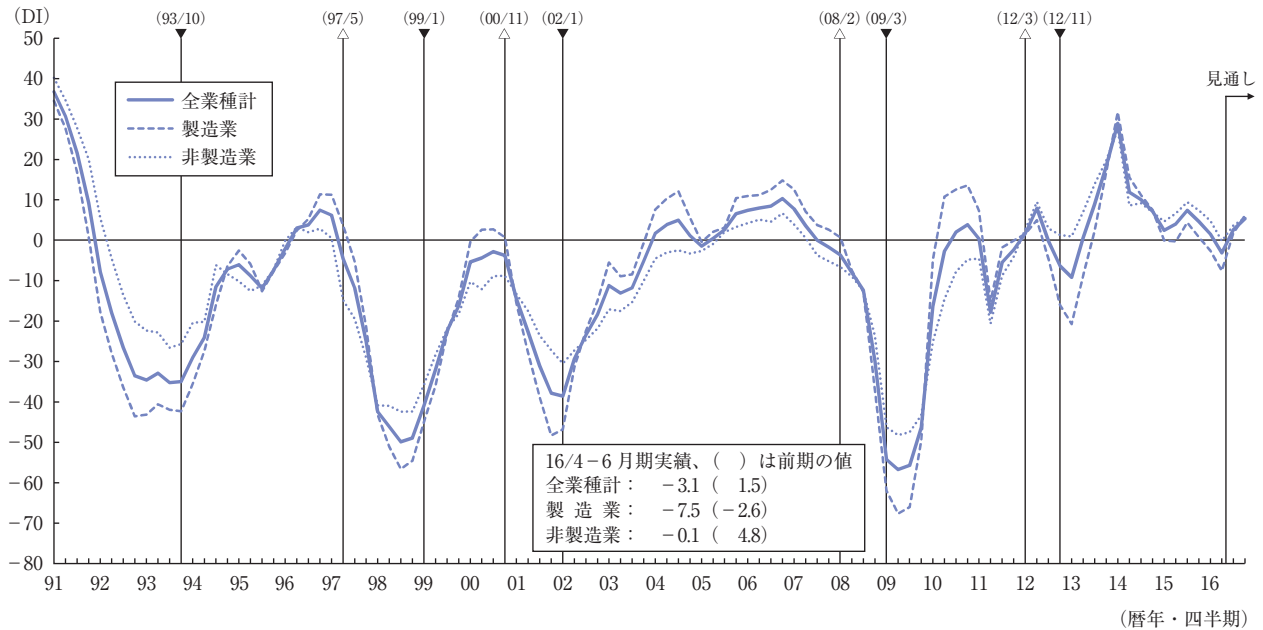


## 売上DIは3期連続の低下

今期の売上DI（全業種計）は、前期から4.6ポイント低下し、-3.1となりました（図表-4）。低下は3期連続であり、マイナス水準となるのは13期ぶりです。

先行きについてみると、来期は上昇して2.6になり、来々期は5.4になる見通しです。

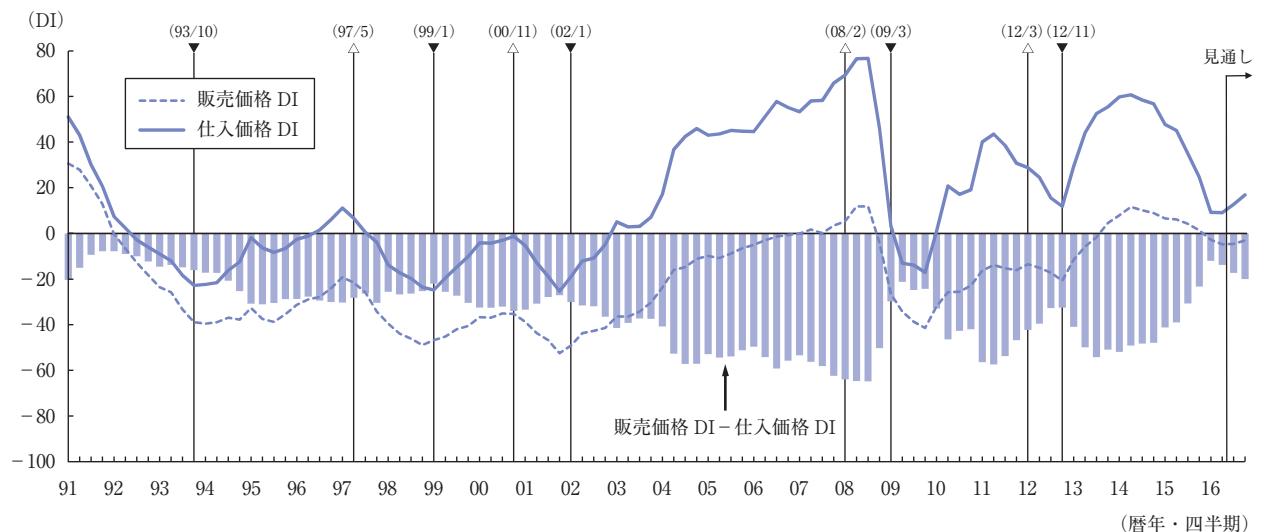
図表-4 売上DIの推移（前年同期比で「増加」-「減少」企業割合、季節調整値）



## 販売価格DI、仕入価格DIともに8期連続の低下

今期の価格関連のDI（全業種計）についてみると、販売価格DIは前期から2.0ポイント低下し、-4.8となりました（図表-5）。仕入価格DIは0.2ポイント低下し、9.0となりました。低下はともに8期連続です。来期は、販売価格DI、仕入価格DIともに上昇する見通しとなっています。

図表-5 販売価格DIと仕入価格DIの推移（いずれも前年同期比で「上昇」-「低下」企業割合、原数値）

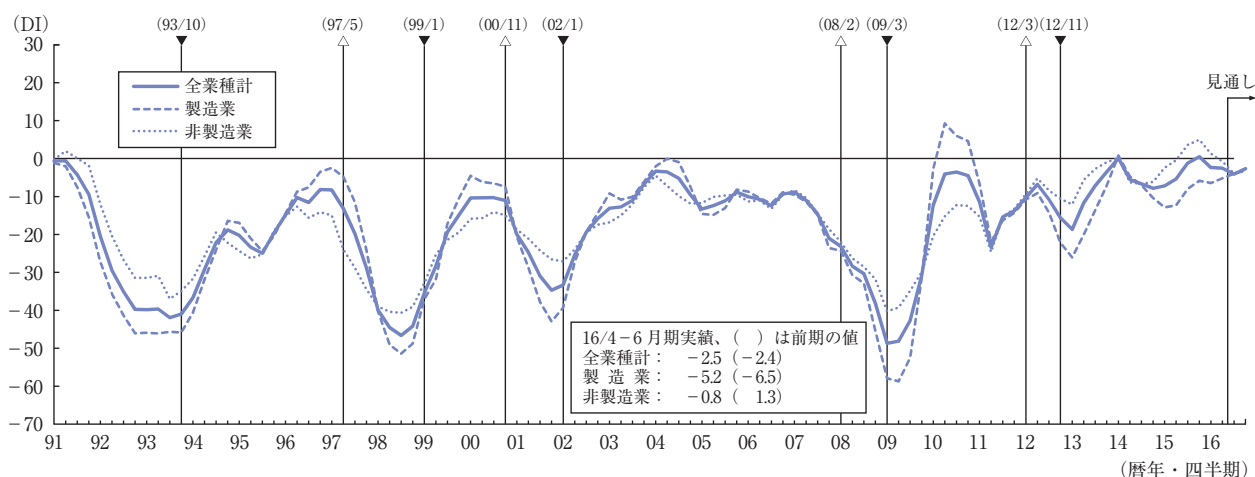


## 純利益率 DI は2期連続の低下

今期の純利益率 DI（全業種計）は前期から 0.1 ポイント低下し、-2.5 となりました（図表-6）。低下は2期連続です。

先行きについてみると、来期はマイナス幅を拡大して-4.1 になり、来々期は-2.7 になる見通しです。

図表-6 純利益率 DI の推移（前年同期比で「増加」-「減少」企業割合、季節調整値）



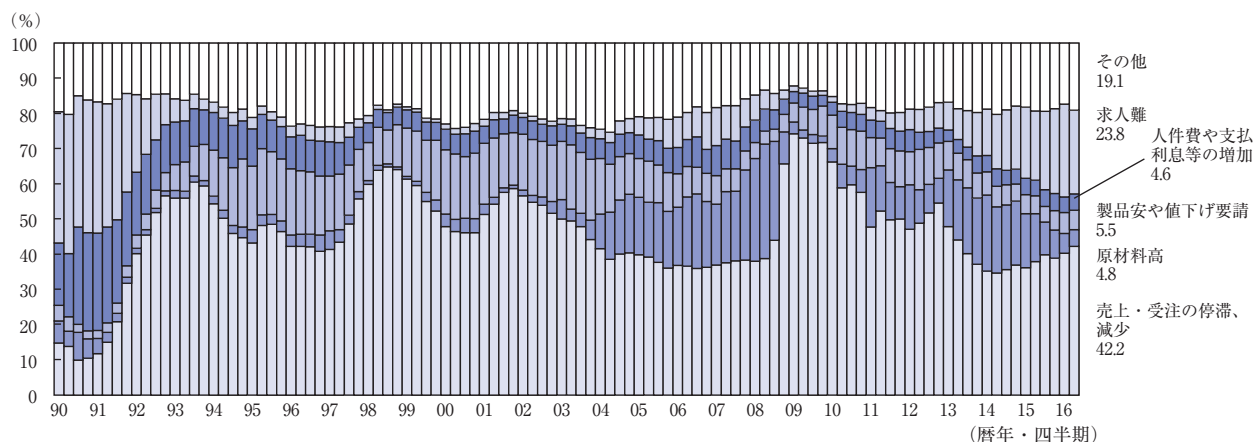
## 売上・受注の停滞、減少が増加

当面の経営上の問題点をみると、回答割合が最も高い「売上・受注の停滞、減少」は、前期から 1.9 ポイント上昇し、42.2%となりました（図表-7）。「求人難」は、2.5 ポイント低下し 23.8%となりましたが、引き続き高水準となっています。

中小企業の景況は、緩やかな回復基調が続いているものの、足元では弱さもみられます。今後は円高の進行や原油価格の底打ちに伴う仕入価格上昇などのリスクもあり、注意が必要です。

（山口 洋平）

図表-7 当面の経営上の問題点



「中小企業動向トピックス」に関するご意見・ご要望等ございましたら、本支店窓口までお問い合わせください。

発行：日本政策金融公庫 総合研究所 ~ホームページ <https://www.jfc.go.jp/> ~